

＊特別事業部より＊

担当副会長：泉 憲政、関 悠吾

担 当 理 事：田中定幸、松田康弘

特別事業部は多岐にわたります。

① 姫路市休日夜間急病センター 委託業務

薬剤師が姫路市民を中心に、地域に密着した活動を行い薬剤師職能のアピールを行っていきたいと思います。

出務者シフト調整・予算（給与）要望・新規出務希望者募集・面談・医薬品在庫管理

24 時間待機電話・実務実習生の受け入れ・緊急時の対応・過誤防止対策

出務希望者の面談は随時行っています。薬剤師会事務局までお問い合わせください。

昨年度より出務薬剤師の勤務に関して出務医師と同じく 65 歳で昼勤務、70 歳で卒業となります。

昨年度は新規に出務希望していただける薬剤師が増えましたが、まだまだ人員が充足しておりません。姫路支部の 20～30 代の薬剤師の先生の協力がもっと必要です。姫路市民の健康を守るための責務だと考えていただき、どうぞ皆様のご協力よろしくお願いします。

② 広域病院処方箋送信事業

処方箋送信事業の継続運営管理・システム検討

金額に関しては 1 枚 90 円 FAX 及び会員外・支部外は 120 円に変更ありません。

③ くすりと健康の週間・・・姫路獨協大学カリキュラムへの対応

姫路市民の健康づくり、地域の高校・大学と一緒に市民への職能アピールと未来の薬剤師を目指す子供たちを育成、情報提供を行っていきます。

日程：令和元年 9 月 29 日（日）10～15 時 場所：花の北市民広場

こども薬局・サイエンスショー・健康相談・HbA1c 測定・禁煙指導エプロンシアター

④ その他 他部会の補助

姫路市休日夜間急病センターの勤務及びくすりと健康の週間への参加については、姫路薬剤師会が地域に貢献する薬局、薬剤師の証明書を発行いたします。

泉 憲政

＊災害公衆衛生部より＊

担当副会長：泉 憲政

担 当 理 事：神崎年木

担 当 委 員：八木 智

昨年度は災害が多い年でした。私たち薬剤師会から被災地へ行った方、姫路から思いを送られた方、いろんな被災地への思いを巡らせた 1 年であったように思います。災害公衆衛生部が発足し、災害対策と新型インフルエンザ対策などの公衆衛生対策、禁煙支援活動を中心に活動しています。

被災地に行って思うことは、いくら準備していても準備したりないことです。日ごろから訓練をしていても現場では対応しないといけないことは次々に発生します。一つでも検討課題が減らせられるよう、また、一人でも人命が助かるように日ごろから準備していきましょう。

1 月に兵庫県薬剤師会災害訓練、不定期に中播磨圏域における災害訓練を行い、被害報告及び安否確認

の情報伝達訓練をさせていただいております。姫路薬剤師会ホームページのトップ画面の災害時専用ページから報告できるようになっていますのでパソコンやスマートフォン等でアクセスしてみてください。災害時にはこの情報を行政に報告することで支援、受援をスムーズに行うことができますようになります。災害はいつ発災するかわかりません。医療従事者として災害に備えることは大切だと考えます。これを機に災害・防災医療にも興味を持っていただけるとありがたいです。

兵庫県薬剤師会では災害時に薬剤師を派遣する場合、災害支援薬剤師に登録をいただいた薬剤師を中心に連絡をしていきます。災害時に派遣可能な日程を調整して支援へ行っていただくようになります。

この機会に兵庫県薬剤師会のホームページから登録をお願いいたします。

災害・防災に強い薬剤師育成のために兵庫県薬剤師会・姫路薬剤師会で研修を行っています。

研修会・活動予定

1) 薬局における BCP 作成と整備・災害対応マニュアルの更新

BCP (事業継続計画) とは、企業が自然災害、大火災、テロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画のことです。

ご自身の薬局の BCP を備えるとともに、姫路薬剤師会の BCP 及び災害対応マニュアルの見直しを行っていく。

2) 第4回薬剤師緊急対応スキルアップ研修会：一次救命処置(basic life support)

AED 使用法 人口呼吸 胸骨圧迫 高エネルギー外傷初期対応法

開催場所・日程調整中

3) 第7回兵庫 PhDLS(災害薬事研修コース)研修コース プロバイダーコース in 豊岡

令和元年 7 月 28 日 (日) 8:50~17:00 場所：豊岡病院組合立 豊岡病院

第8回兵庫 PhDLS(災害薬事研修コース)研修コース プロバイダーコース in 兵庫医大

令和元年 10 月 6 日 (日) 予定 8:50~17:00 場所：兵庫医科大学

災害時における法律や支援に入るための知識の導入講座

兵薬界及びフェイスブックにて募集予定

4) 中播磨圏域におけるロジスティクス訓練 兵庫県・姫路市・姫路市保健所・姫路薬剤師会 共催で市街時における情報収集・情報処理訓練を行います。

令和元年 9 月 23 日 (月祝) 9:00~17:30 場所：姫路市医師会館

5) 禁煙指導認定薬剤師講習会 (県薬主催)

年間 2 回予定 (場所：神戸方面)

6) 姫路薬剤師会では災害時に備えて備品を備えています。

手指消毒用エタノール 300 本・マスク 300 個・

災害用ベスト 6 着・トランシーバー 4 台・衛星電話 1 台



泉 憲政

＊情報広報部より＊

担当副会長：泉 憲政

担 当 理 事：八藤賢市

担 当 委 員：三木智弘

本年度はホームページで市民向けページの更新を行っていきます。

また、研修会や行政、保健所からの伝達事項の更新を行っていますので一度ホームページも訪れてみてください。災害時の被災状況報告、安否確認をできるようホームページのトップに載せていますので確認しておいてください。

ID: 89hime Password: 89hime 3回続けて間違えると15分間使えなくなります。しばらくしてから入力してください。

薬剤師会からの情報をFAX送信からメール送信へ移行しています。

コスト削減と情報送信の効率化を行いますのでご協力よろしくお願いいたします。

薬剤師会からの情報送信サービスを受ける場合は薬局のメールアドレスの登録を必ず行ってください。個人あてにも行っています。

- 薬局へのメール受信設定ができていない方

<https://ssl.formman.com/t/w8Sl/>



- 研修会等の案内、参加申請のための登録

個人への携帯電話やパソコンへのメール受信設定をされてない方

<https://ssl.formman.com/t/r909/>



泉 憲政

＊地域医療部より＊

担当副会長：池口由美

担 当 理 事：藤原 昭、杉本香織、森保貴典、松田康弘

担 当 委 員：永谷仁子

地域医療部は、2025年を目途に、重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・地域介護・予防・生活支援が一体的に提供される包括ケアシステムの構築と、団塊の世代が後期高齢者のピークを迎える2040年に向けて同システムの深化のため、各団体との連携会議に出席し、積極的に連携を推進して行きます。地域において、薬局・薬剤師が効果的、効率的に役割を果たし、地域住民にとってなくてはならない身近な存在として職能を十分に発揮することより、チーム医療・介護の一員としての支援力を高め、一つの重要な資源となり活躍できることを目標に事業を展開していきます。

本年度も引き続き、行政・多職種主催の研修会・事例検討会・情報交換会等についてご案内いたします。また、「“家、時々入院”＝“入退院時に切れ目のない医療と介護の提供”」「在宅難民を増やさないための支援」「薬剤師による在宅看取り支援」がよりスムーズに行えるよう、訪問看護師との合同研修会や姫路市地域連携室協議会との合同研修会も例年通り開催いたします。いずれの研修会も積極的に参加し、「情報交換」「顔の見える化」「支援力向上」にお役立てください。

各行政・多職種主催の会議にももれなく出席し、事例や状況、環境に応じて薬剤師がどのように関わ
り合えるかなどの薬剤師職能をアピールしていくことに加え、どのようなニーズ・活躍の場があるのか
の情報を収集し、会員様に研修会内で配信していきます。出前トークも積極的に行い、多職種・地域住
民の方へ薬局・薬剤師を活用することのメリットを紹介していきます。相談を受けた際には誠意を持っ
て対応いただき、活躍の場を広げてください。

姫路在宅訪問薬局リストを更新し、4000部作成しました。令和元年度版は各職能団体に働きかけ、支
部内（姫路地区・神河町・市川町・福崎町ほか）の医療機関、介護支援事業所、地域包括支援センタ
ー、保健所、健康福祉事務所などに設置いただく予定です。また、多職種開催の研修会や会議等に参加
する際、薬局・薬剤師の地域への支援内容とともに、リストの有効活用について紹介し配布していきま
す。

リストに登録される薬局様においては、責任をもって対応くださ
いますようお願い申し上げます。

「健康サポート薬局に対応するための支援事業」では、各職能団
体に健康サポート薬局の意義や有用性などを紹介し、協力体制を構
築できるよう活動しています。ニーズが多くなっているママサ
ポート活動への支援も継続して行っています。ママサポート認定
薬剤師の皆様、是非積極的にご活躍ください。

やらなければいけないことが盛りだくさんですが、役員一同全力で頑張っています。

本年度もよろしくお願い申し上げます。



池口由美

医療保険部より

担当副会長：池口由美

担 当 理 事：藤原 昭、八藤賢市、杉本香織

H27年度10月に厚生労働省から、…「門前」から「かかりつけ」、そして「地域」へ…をテーマに、「患
者のための薬局ビジョン」が公表され4年か経過しようとしています。患者が使用するすべての医薬品
の一元的・継続的な薬学的管理指導を担い、医薬品の服薬期間を通じた服薬状況の把握や服薬指導を行
い、必要に応じて医師等に情報提供をするよう努め、薬物療法の適正化に寄与することが薬剤師の職能
であり、薬局の基本機能であると求められています。地域住民が安心して薬物治療を行うための薬剤師
の業務が期待され、地域の多様な健康相談にも対応できる「かかりつけ薬局・かかりつけ薬剤師」が高く
評価されています。H30年度調剤報酬改定においても、「門前」から「地域におけるかかりつけ機能」へ
～が評価された結果になりました。

私たちは、かかりつけ機能を通じて患者の安心・安全な薬物療法を確保し、かつ、健全な医療財源の確
保にも貢献し、正当な評価を調剤報酬として獲得していかなければなりません。

医療保険部では、保険薬局・保険薬剤師のさらなる職域の拡大・適正な評価と正当な調剤報酬の獲得を
スローガンに、情報を収集し、指定後講習会で情報提供していきます。

保険調剤に係る法令・法規への知識を深めていただき、「求められる保険薬局・保険薬剤師」とし
て適正かつ正当で最大限の評価を得られるよう講習会の内容を更新していきます。また、次年度の調剤
報酬改定への準備、対応等も行っていきます。

地域医療部と協力し、「かかりつけ薬局・薬剤師」の活用法を地域住民の方々や多職種へ啓発するため

の出前トークを積極的に実施し、研修部ほかとも協力し、地域医療への参画・支援に関する情報提供も継続的に行います。

県薬主催 「令和元年度 保険薬局・保険薬剤師 伝達講習会」7月6日実施。

支部主催 「指定後講習会」9月14日に開催いたします。

是非、積極にご参加いただき、参加された薬剤師の方々の保険調剤業務の一助としていただければ幸いです。

今後も頑張ります。よろしくお願い申し上げます。

池口由美

研修部より

担当副会長：深見達也

担 当 理 事：田中定幸、杉本香織、安田幸一

担 当 委 員：碁盤繁子、松尾知里

研修部は昨年に引き続き同じメンバーで、皆様にとっていい研修会になるよう努力してく所存です。

皆様もご存じのとおり研修シール等のネットでの転売発覚により日本薬剤師研修センターからの要請で7月より研修シールの配布に際して薬剤師免許番号が必要となり又研修シール毎に番号が記載され、配布した番号と受け取った方を研修センターへ提出しなくてはならなくなりました。大変な作業となりますが対応するため、姫路支部の会員様は配信メールもしくはホームページよりお申込みお願い致します。なるべくスムーズに行えるよう努めてまいりますので宜しくご協力お願いいたします

研修部は、姫路薬剤師会主催の月例研修会の充実と、病院薬剤師会西播支部と姫路獨協大学薬学部との共催で行う西播・姫路医療セミナー及びその他研修会に積極的に参加、協力していき情報を収集し、フレッシュな演題の研修会を開催していきます。定例研修会以外の共催研修会も増えてきております昨年は内容の充実した共催研修会も多かったので、今年度は多くの会員様に参加して頂ければと思います

さらに、新生涯学習支援システム(JPALS)も啓発してまいります。近年多種多様の新薬が発売され、それに伴い服薬の観点から薬剤師が習得していかなければならない知識も多様化しております、人数制限等でご迷惑おかけいたしております。出来る限り会員の皆様に納得していただけるよう運用面におきまして努力してまいりたいと思います。

昨今製薬メーカーの協力体制も以前より厳しくはなっておりますが、新しい薬剤と従来の薬剤の内容を組み合わせ又最新の治療等の話題も取り入れ研修部として出来る限り会員の皆様に納得していただけるよう努力し情報を発信していきたいと思ひます。

深見達也

薬剤師連盟より

姫路薬剤師連盟：会 長 浦上文男

幹事長 関 悠吾

兵庫県薬剤師連盟姫路支部：支部長 杉本香織

班長 浦上文男、藤田佳典、深見達也、田中定幸、
藤原 昭、関 悠吾、森保貴典、八藤賢市、
安田幸一、杉本香織、泉 憲政、神崎年木、
勝間由美子、池口由美、西岡健二、
松田康弘、大澤泰輔

薬剤師連盟は、薬剤師に理解があり応援してくれる議員を支援しています。

日本薬剤師連盟は、組織内統一候補である、

本田あきこ

さんを引き続き盛り上げていきます。

今年、「調剤業務のあり方について」厚労省より 0402 通知がありました。みなさまもご存じの通り、薬剤師以外の者が一部の調剤行為を認める内容で示されております。

この 0402 通知では、薬局業界においてチャンスの部分とピンチの部分が混在しているように思われます。薬剤師の調剤の部分での負担が減った分、現場の薬剤師は薬学的管理業務へ注力し、薬剤師の職能を十分にアピールしなさいよというチャンスの部分。反対に負担が減った分、調剤料等への減算リスクがあるかもしれませんよというピンチの部分が考えられます。

チャンスであってもピンチであっても、現場の薬局・薬剤師からの声を国政に届けてくれる代表者がいないと国は正当な評価をしてくれないかもしれません。

愛と希望にあふれた、これからの医療と薬剤師を目指す本田あきこさんが直往邁進に活動できるよう兵庫県・姫路市をあげて後援活動の強化に努めたいと思います。今後、会員みなさまの薬局へご挨拶・後援活動にお伺いすることがございます。その際には連盟活動への御理解・御賛同を、何卒宜しくお願い致します。

また会員の方で、連盟会費を未納の先生、薬剤師職能の維持・向上のためにも、どうか連盟会費をご入金して頂ければ幸いです。このことも御一考の程、よろしくお願いします。

幹事長 関 悠吾



姫路薬剤師会青年部より

担当副会長：泉 憲政

担 当：泉 憲政、兵庫県薬剤師会連盟 姫路支部会員

本年度は参議院選挙があります。皆さんで本田あきこを応援しましょう

薬剤師職能及び薬剤師のインテリジェントフィーを守るため、我々の意見を国会へ届けていただくため薬剤師議員は必要です。18 歳から選挙権ができ、薬学生にも国会、政治、選挙の大切さを伝えていかなければなりません。薬剤師は、薬局・薬店・病院とそれぞれに行動に移してしまいます。今こそ薬剤師が 1 つになって活動し薬剤師議員を盛り立てていきましょう。

泉 憲政

